

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3及び5、14	○市町村との連携 市町村担当者との連携が運営推進会議などに関係した範囲内になっているので、グループホーム事業所の実情やグループホームサービスの取り組み、認知症への理解、支援方法などを広く市民に知らせるためにも、さらに協力関係を強める必要がある。	鹿島、嬉野、太良、白石グループホーム交流研修会の一部の開催を鹿島市地域包括支援センターと共催する。	7月の「高齢者虐待・拘束について」の研修と、1月の「抱え上げない」研修を包括支援センターと共催し、広く市民にケアに係る重要な考え方や注意点などを理解していただく。	2ヶ月
2	6	○身体拘束をしないケアの実践 虐待研修や身体拘束をしないケアの研修が少ない。	虐待研修や身体拘束をしないケアの研修に重点的に参加する。	5月の佐賀県グループホーム協議会の研修会や7月の当交流会の研修会に多数参加する。	3ヶ月
3	12	○就業環境の整備 特に夜勤時に職員が一人になる時間帯の勤務負担を減らすようにICT等を導入する必要がある。	見守り用カメラの導入にむけて、佐賀県の長寿社会課などと協議し、検討する。	見守り用カメラの導入を実現する。	6ヶ月
4	55	○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 入居者が自力で歩行できる環境を整備する必要がある。	自力で歩行できる廊下の環境整備。	グループホーム浜の廊下の中央に手すりを設置し、入居者の自力歩行を支援するようにする。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。